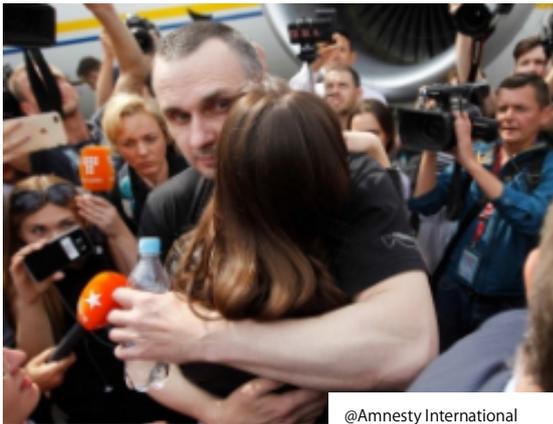


## ロシア：クリミアの作家らが釈放されました！

ロシアに拘束されていたクリミア在住の作家で映画監督のオレグ・センツォフさんと環境保護活動家のアレキサンダー・コルチェンコさんが、ロシアとウクライナとの囚人交換合意に従って、9月7日に釈放されました。

2人は2014年、ロシアによるクリミア併合に強く反対する抗議行動中に拘束されました。



その後、センツォフさんは、テログループを組織し、政党の事務所に放火したとするテロ行為で、コルチェンコさんはそのテロ行為に参加したとして、起訴されました。2人はいずれの容疑も否定していましたが、翌年、露骨な検察主導の裁判で、それぞれ終身刑と20年の刑を受けたのです。ロシアによるクリミアの併合に反対したというだけで拘束・裁判・投獄は、決して許されるものではありません。

## ベキロワさんも釈放

もう一人、囚人交換合意に基づき釈放された人がいます。捏造された容疑で拘束されていたクリミア・タタール人のエデム・ベキロワさんと、同じ9月7日に釈放されました。

昨年12月、母親に会うためクリミアにある実家を訪れたとき、爆発物と武器の所持というまったく身に覚えのない容疑で拘束され、その後、ロシアに移送されて勾留されていました。

勾留中は、狭くて不潔な房に入れられ、足の障がいでも車椅子を使うベキロワさんの身には、不自由この上ない日々でした。その上、糖尿や心筋梗塞などの病を抱えていたため、無事釈放されても、自力で帰宅できるのか、この8カ月間あまり、不安に苛まれる毎日でした。

ベキロワさんは釈放された2日後、入院して治療を受けることができ、現在は、首都キエフの自宅で日常を取り戻しているそうです。

娘のエレオノラさんが、父親に代わってアムネスティにメッセージを送ってくれました。

「大変辛い時に私たちを支え、励ましの言葉を送ってくださった皆さん、ありがとうございました」

不当に拘束されている人たちを支援していただいた皆さんに、深く感謝いたします。

パレスチナ：ベドウィンの村長が釈放！

イスラエルに対する闘争の首謀者として投獄されていたシェイク・サイヤ・アブ・ムデイギム・アル＝トゥリさんが7月22日、釈放されました。

サイヤさんが村長を務めるベドウィンの村は、村として認めないイスラエル当局に家屋や施設を何度も破壊されてきました。そんな中、長年、村長としてベドウィンの権利を擁護する運動をしてきました。表現と集会の自由の権利を行使するサイヤさんに対し、イスラエル当局は、10カ月の刑を言い渡して投獄したのです。皆さんから当局への手紙が功を奏したのか、今回、イスラエル監獄局から早期釈放を認められました。

釈放されたサイヤさんは、アムネスティに次のように語っています。

「私たちの権利のために立ち上がってくれた人たちに感謝したい。獄中では、皆さんの励ましかけが支えだった。当局は、村を破壊し、土地を守る私たちの意志も壊そうとしている。自由になったが、闘いは続く。アムネスティには、村として公認されるまで引き続き運動を続けていただくことを望んでいます」

## バングラデシュ：ロヒンギャ学生に停学処分

今年1月、バングラデシュで生まれ育ったロヒンギャのロヒマ・アクテル・クッシーさんは、コックスバザールにある私立大学の法学部に入学しましたが、2学期が始まる9月初旬、ロヒンギャであることを理由に無期限の停学を言い渡されました。



@Amnesty International

増加につながりかねません。

子どもたちに教育を受ける機会を作り、ロヒンギャの未来の役に立ちたい。そう思ったクッシーさんは苦学の末、今年1月にコックスバザール国際大学に入学しました。そして、今回の大学のあまりに非情な判断です。

大学当局はアムネスティに、「今回の停学処分は、公立・私立を問わず、国がロヒンギャの大学入学を禁じているため」と説明していますが、まったく納得できません。

クッシーさんは、大学追放の日からうつ状態になりました。アムネスティに「家に籠っています。まるで刑務所にいるよう」と振り絞るような声で話していました。

皆さん、大学に対してクッシーさんの停学取り消しを求める運動にご協力ください。

[こちらのサイト](#)にある「要請例文」をご利用ください。またはウェブサイトで「アムネスティ クッシー 要請」でも検索できます。

また、ツイッターでも訴えてください。

Allow Rohingya student Khushi to complete her university education. #Educationforall @ShahidFSBD

バングラデシュで生活する多くのロヒンギャの子どもたちは、正規の教育を受けられません。その結果、未来の選択肢が狭まるだけでなく、未成年による犯罪の

## 中国：新疆大学の元学長に死刑判決

中国の新疆(しんきょう)ウイグル自治区にある新疆大学の元学長、タシポラット・ティップさんは、著しく不公正な裁判で死刑判決を受け、いつ執行されるとも限らない状況にあります。

新疆大学を卒業後、日本の大学に留学し、理学博士号を取得したタシポラットさんは一昨年、学生とドイツに向けて北京空港から出発する時に中国当局に拘束されました。

最近、非公開の法廷、「分離独立主義を実現しようとした」などの罪で死刑判決を受けました。2年間の執行猶予付きで違法行為がなければ、減刑されるということですが、いつ執行されてもおかしくない状況です。

皆さん、中国当局にタシポラットさんの死刑判決取り消しを求めてください。

[こちらのサイト](#)にある「要請例文」をご利用ください。またはウェブサイトで「アムネスティ タシポラット 要請」でも検索できます。



@Amnesty International

### UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本